

公 告 第 8 9 号
令和8年9月17日

変 更 公 告

分任契約担当官
陸上自衛隊北熊本駐屯地
第392会計隊長 松岡 史郎

公告第84号（令和8年9月11日）「北熊本（R8）道路補修工事」について別紙のとおり仕様書及び数量計算書を変更する。

1 入札及び契約事項に関する問い合わせ

861-8064

熊本県熊本市北区八景水谷 2-17-1

陸上自衛隊北熊本駐屯地 第392会計隊 契約班（担当：浦上）

TEL 096-343-3141（内線 3567）

FAX 096-344-8807

2 仕様書に関する問い合わせ

熊本県熊本市北区八景水谷 2-17-1

陸上自衛隊北熊本駐屯地業務隊 管理科営繕班（担当：山下）

TEL 096-343-3141（内線 3317）

北熊本（R 8）道路補修工事

件 名	北熊本（R 8）道路補修工事					図面番号	1/6
図 名	表 紙					縮 尺	—
業務隊長	管理科長	営繕班長	企画主任	管財主任	営繕主任		設計者
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科営繕班						令和8年9月8日	

仕 様 書

1 工事件名：北熊本(R 8)道路補修工事

2 工事場所：熊本県熊本市北区八景水谷2丁目17番1号 陸上自衛隊北熊本駐屯地

3 工事概要

- | | | | | |
|-----|----------------|-------|-----|--------------------------|
| (1) | アスファルト舗装撤去 | t=50 | ・・・ | 1565.75 m ² |
| (2) | アスファルト舗装 | t=50 | ・・・ | 1610.4576 m ² |
| (3) | 区画線工(溶融式) 実線 白 | t=150 | ・・・ | 305.70 m |
| (4) | 区画線工(溶融式) 破線 白 | t=150 | ・・・ | 150.00 m |

4 一般仕様

(1) 適用

ア 本工事の施工は、本特記仕様書によるほか設計図書、防衛省装備施設本部制定「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という）の定めるところに従い誠実に行うものとする。また、これらに明記なき事項については、監督官との協議による他、図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記の要領等により実施するものとする。

- (7) 舗装設計施工指針・・・・・・・・・・・・・・・・日本道路協会
- (1) 舗装施工便覧・・・・・・・・・・・・・・・・日本道路協会
- (9) アスファルト舗装工事共通仕様書・・・・・・・・日本道路協会
- (ニ) 土木工事安全施工技術指針・・・・・・・・・・国土交通省
- (イ) 建設工事公衆災害防止対策要綱
- (ハ) 建設副産物適正処理推進要領

イ 本工事の実施に際して、関係諸法規を遵守するものとする。

(2) 建設副産物

受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」（平成３年４月２６日法律第４８号）、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号）その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要領」（国土交通省事務次官通達（平成１４年５月３０日））「建設工事における再生資源の活用について（通知）」（防整技第７４０５号（平成２８年４月１日））を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

(3) 工事中の安全確保

ア 自衛隊敷地内等工事関係車両の通行ルートの安全対策については、受注者の責任において十分管理するものとし、通行ルート及び工事施工場所周辺の道路等は、土砂等の飛散物による粉塵が発生しないように清掃及び未然処置等を実施するものとする。

イ 工事の安全には充分留意し、必要に応じて保安灯等の危険防止のための措置を講ずるとともに、機会あるごとに作業員に対しても注意喚起を実施し、安全管理を徹底するものとする。

ウ 工事中危険が予想される箇所については、事前に監督官の承諾を得て第三者が入らないよう安全処置をとることとする。

(4) 自衛隊敷地内工事

ア 受注者は、自衛隊敷地内へ工事を行う場合、敷地内への立入り及び敷地内での行動(出入門手続き・火気取扱・工事用通行路等)は、当該駐(分)屯地等の規則(部隊諸規則)及び駐(分)屯地等関係者の指示を遵守して行うものとし、施工場所以外への立入りを禁止する。やむをえず施工場所以外への立入りを必要とする場合は、所定の手続きを行うものとする。

イ 自衛隊敷地内の施設等に損傷を与えないよう充分注意して施工するものとし、万一破損させた場合は速やかに監督官に報告すると共に、受注者の負担において原状に復旧するものとする。

ウ 本工事の写真は、カメラ(カラー)又はデジタルカメラを使用し、着工前、施工中、完成時及び監督官の指示するところを撮影し、アルバムに整理した後、一部監督官へ提出するものとする。

エ 本工事に使用する材料は全て新品(指定した再生資源資材を除く)とし、監督官の検査を受けた合格品のみを使用する。

オ 監督官の示す書類等は速やかに提出するものとする。

カ 受注者は、仕様書及び現地において、相違・疑義あるいは不明な点が生じた場合は、監督官と協議しその指示に従う。

キ 改正建設業法に基づき、受注者は下請業者を締結する場合は、あらかじめ施工管理台帳を提出し、監督官の確認を受けるものとする。

5 特記仕様

(1) 共通

ア 本工事着手前に着工前測量を実施し、設計図面と差異が無いか確認するものとする。差異がある場合は監督官に報告するとともに、施工図を作成し、承諾を得た上で施工するものとする。

イ 本工事に際し、周辺住民に対する騒音、振動等の環境面の十分な配慮をするものとする。

ウ 産業廃棄物の処分(又は特定建設資材廃棄物の再資源化に係る処分)

本工事の施工により発生する産業廃棄物の処分(又は測定建設資材の再資源化に係る処分)は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和45年12月25日法律第137号)又は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号)に基づいて適切に処分するものとする。

エ 再資源から構造した建設資材の利用

受注者は、下表に掲げる区分に応じ、再生資源から製造した建設資材を利用するものとする。

名 称	使 用 区 分
再生加熱アスファルト混合物	道路舗装及び駐車場舗装の表層材料及び基層材料

※なお、上記についてやむを得ない理由により本資材によりがたい場合は、監督官と協議するものとする。

オ 施工の際には、受注者側で誘導員(2名以上)を配置するものとする。

カ 施工完了後、切り取り試験を2箇所行うものとし、細部は監督官と協議の上実施するものとする。

キ 契約期間以内に完成検査まで確実に終了させるものとする。

(2) 路盤工事

アスファルト舗装(乳剤散布含む)施工前に、不陸調整を行うものとする。

(3) アスファルト舗装工事

ア アスファルト混合物は、共通仕様書表3.2.24アスファルト混合物の項によるものとし、配合は下表を基準とする。

なお、施工に際しアスファルト混合物の配合資料(成分表等)を監督官に一部提出することとする。

混合物の種類	使用区分
再生密粒度アスコン(13)	共通仕様書 アスファルト混合物(密粒度アスコン)に準ずる

イ 乳剤散布は下表を標準とする。

適 用	使 用 材 料	散 布 量	備 考
プライムコート	アスファルト乳剤(PK-3)	0.4L/㎡	アスファルト路面、安定処理路面等
タックコート	アスファルト乳剤(PK-4)	0.4L/㎡	アスファルト路面、安定処理路面等

ウ 区画線に使用する材料及び塗布料は、下表のとおりとする。

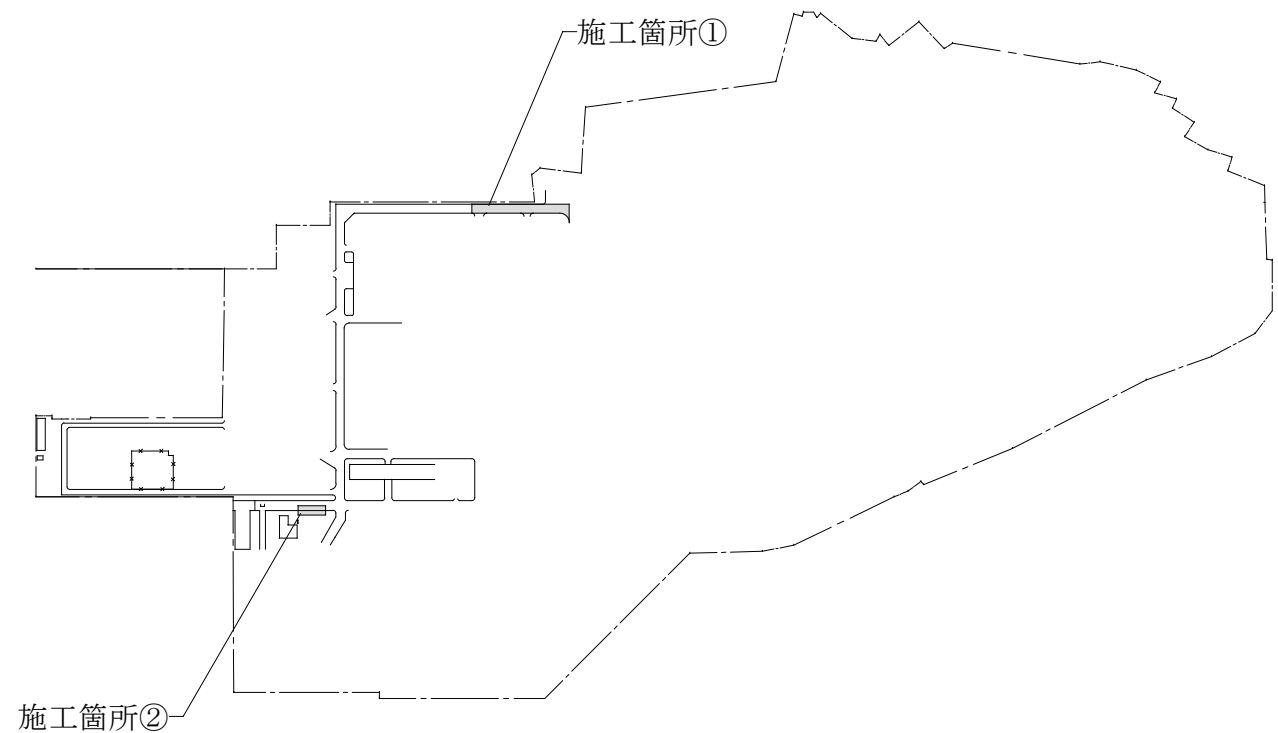
使用材料	散布量	備考
路面標示用塗料	厚1.5mm	JIS K 5665 (路面標示用塗料) 3種1号
路面標示塗料用ガラスビーズ	13.3kg/100m ²	JIS R 3301 (路面標示塗料用ガラスビーズ) 1号

※ 区画線については、既設区画線の復旧を基準とする。

件 名	北熊本(R8)道路補修工事	図面番号	2/6
図 名	仕様書	縮 尺	—
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科営繕班		令和8年9月8日	

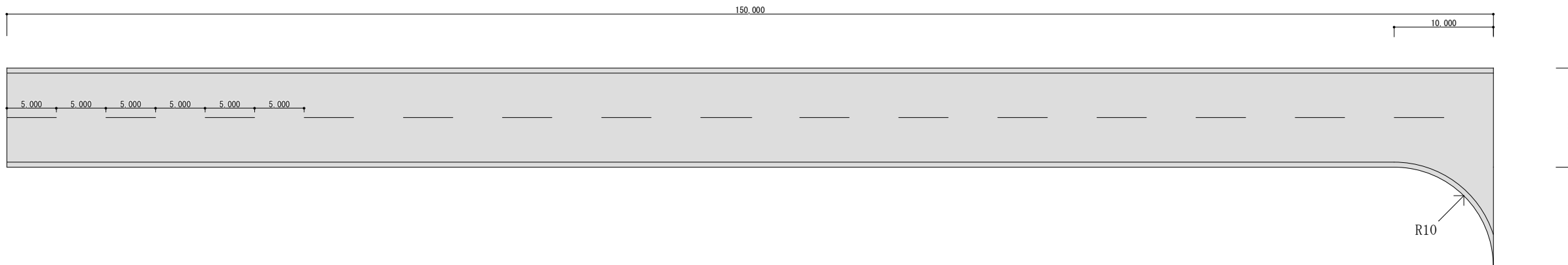


北熊本駐屯地案内図 S=1/100,000



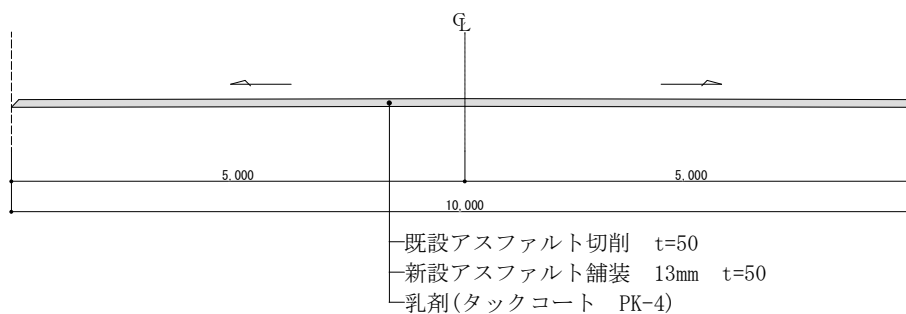
北熊本駐屯地配置図 S=1/10,000

件名	北熊本(R8)道路補修工事	図面番号	3/6
図名	案内図、配置図	縮尺	図示
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科営繕班		令和8年9月8日	



- 切削オーバーレイ t=50
- 実線 W=150
- 中央線 W=150 L=5,000

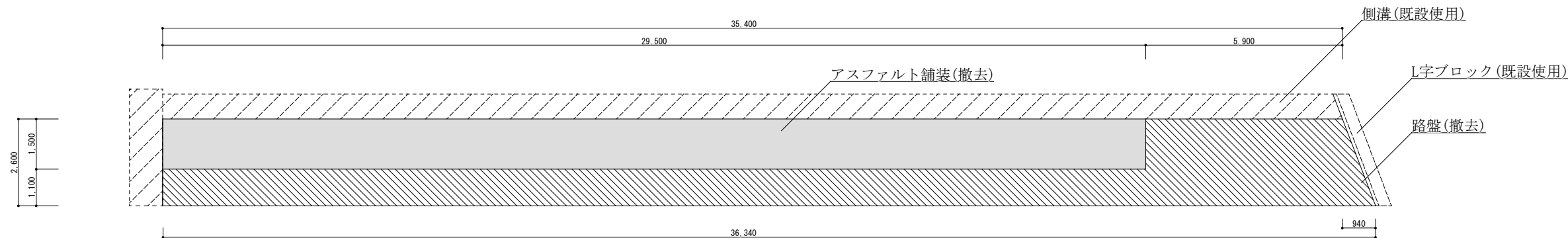
平面図① S=1/500



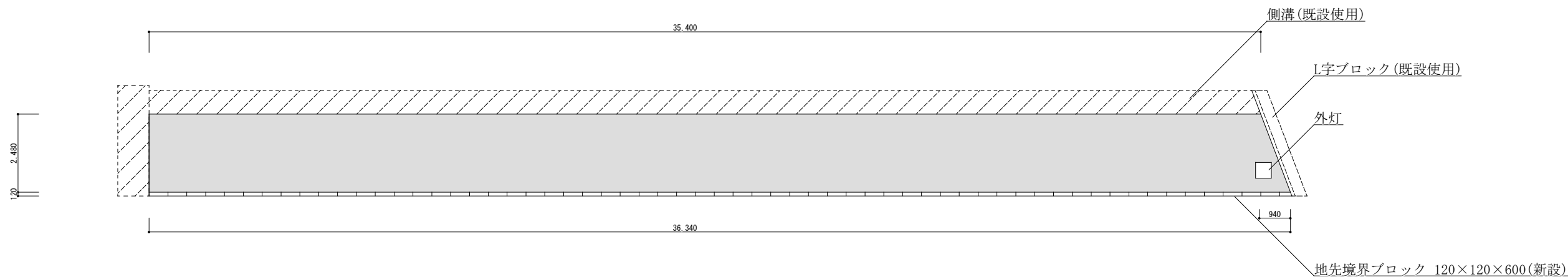
- 既設アスファルト切削 t=50
- 新設アスファルト舗装 13mm t=50
- 乳剤(タックコート PK-4)

横断面図 S=1/50

件名	北熊本(R8)道路補修工事	図面番号	4/6
図名	平面図、断面図	縮尺	図示
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科営繕班		令和8年9月8日	

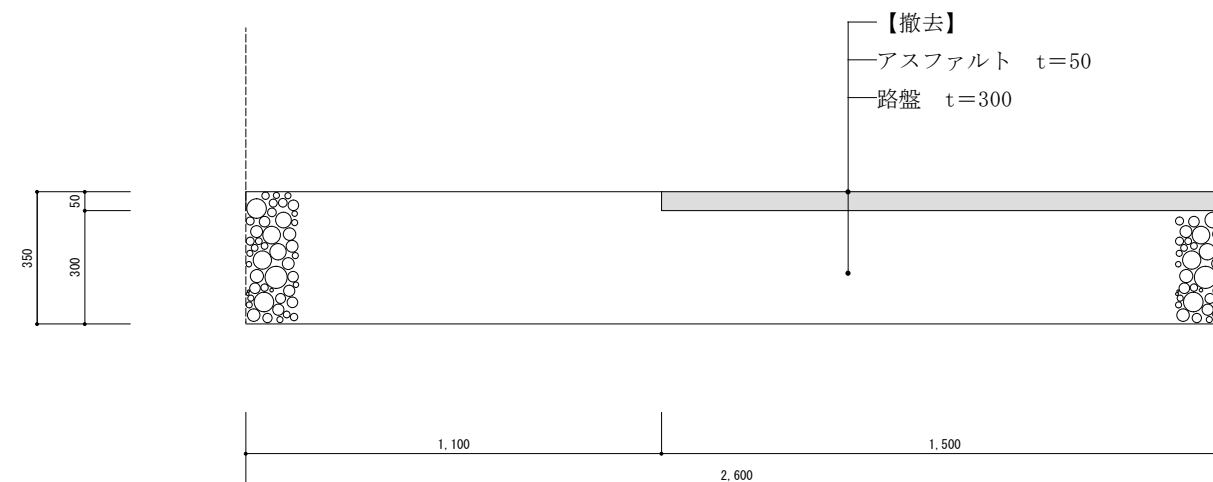


【既設】平面図② S=1/100

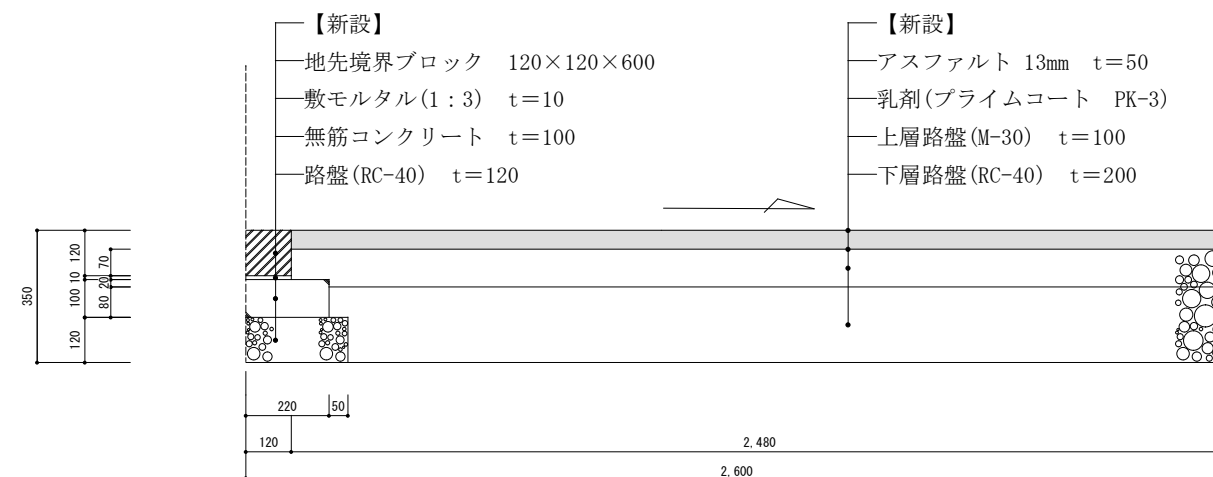


【新設】平面図② S=1/100

件 名	北熊本(R 8)道路補修工事	図面番号	5/6
図 名	平面図	縮 尺	図 示
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科営繕班		令和8年9月8日	



【既設】断面図② S=1/20



【新設】断面図② S=1/20

件 名	北熊本(R 8)道路補修工事	図面番号	6/6
図 名	断面図	縮 尺	図 示
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科営繕班		令和8年9月8日	

数 量 算 出 計 算 書

北熊本(R8)道路補修工事

名 称	摘 要 ・ 規 格	数 量	単位	数 量 算 出 根 拠	備 考
I 土木工事					
1 土工					
(1) 掘削		30	m ³	$((35.40\text{m}+36.34\text{m}) \times 2.6 \div 2) \times 0.35 = 32.6417\text{m}^3$ $29.50\text{m} \times 1.50\text{m} \times 0.05\text{m} = 2.2125\text{m}^3$	30.4292 m ³
				合計 : $32.6417\text{m}^3 - 2.2125\text{m}^3 = 30.4292\text{m}^3$	
2 路側工					
(1) 地先境界ブロック	A種 120×120×600	36	m	仕様書のとおり	36.34 m
3 コンクリート工					
(1) モルタル練	高炉	0.1	m ³	$0.12\text{m} \times 0.01\text{m} \times 36.34\text{m} = 0.043608$	0.043608 m ³
(2) コンクリート	無筋 人力打設 24-12-25(20)(高炉)	0.8	m ³	$0.22\text{m} \times 0.10\text{m} \times 36.34\text{m} = 0.79948$	0.79948 m ³
4 路盤工					
(1) 下層路盤	車道 RC-40	85	m ³	$((35.40\text{m}+36.34\text{m}) \times 2.6 \div 2 = 93.262\text{m}^2$ $0.22\text{m} \times 36.34\text{m} = 7.9948\text{m}^3$	85.2672 m ³
				合計 : $93.262\text{m}^2 - 0.639584\text{m}^2 = 85.2672\text{m}^2$	
(2) 上層路盤	車道 M-30	89	m ³	$(35.40\text{m}+36.34\text{m}) \times 2.6 \div 2 = 93.262\text{m}^2$ $(0.12\text{m} \times 36.34\text{m}) = 4.3608\text{m}^3$	88.9012 m ³
				合計 : $93.262\text{m}^2 - 4.3608\text{m}^2 = 88.9012\text{m}^2$	
5 アスファルト舗装工					
(1) アスファルト舗装	t=50 密粒度As混合物(13)	1,610	m ³	① : $(150\text{m} \times 10.00\text{m}) + (10.00\text{m} \times 10.00\text{m}) - ((10.00\text{m} \times 10.00\text{m} \times 3.14) \div 4) = 1521.5\text{m}^2$	1610.4576 m ³
				② : $(35.40\text{m}+36.34\text{m}) \times 2.48\text{m} \div 2 = 88.9576\text{m}^2$	
				合計 : ①1521.5m ² +②88.9576m ² =1610.4576m ²	
6 撤去工					
(1) 舗装版破砕	t=50 アスファルト舗装版	1,566	m ³	① 5-(1)-①による	1565.75 m ³
				② : $29.50\text{m} \times 1.50\text{m} = 44.25\text{m}^2$	
				合計 : ①1521.5m ² +②44.25m ² =1565.75m ²	
(2) 舗装版切断	t=50 アスファルト舗装版	30	m	① : $10.00\text{m}+20.00\text{m} = 30.00\text{m}$	30 m
(3) 運搬	アスファルト殻	78	m ³	表層撤去面積1565.75m ² ×厚み0.05m=78.2875m ³	78.2875 m ³
7 区画線工					
(1) 区画線設置	溶融式 15cm 実線	306	m	$150\text{m} + (140\text{m} + (20.00\text{m} \times 3.14 \div 4)) = 305.7\text{m}$	305.7 m
(2) 区画線設置	溶融式 15cm 破線 5m	150	m	150m	150 m
8 産業廃棄物処分					
(1) 産業廃棄物処分	アスファルト殻	189	t	アスファルト殻体積78.2875m ³ ×標準密度2.35t/m ³ =183.975625t	189.375643 t
(2) 産業廃棄物処分	土砂	30	t	掘削参照	30.4292 t